

生駒京子さんの死を悼む



追 悼

Memories of Kyoko Ikoma

(一社) 生産技術振興協会 副理事長
更 家 悠 介

彼女の訃報に接し非常に驚くと共に、深い悲しみとともに、一緒に歩んできた思いがあふれて参ります。

出会いは、2009年2月開催の「世界ものづくりサミット」～大阪の元気な未来がここから始まる～（大阪大学・大阪市・関経連と共催）で、ラウンドテーブルのスピーカーとして一緒にお招きいただいたのがきっかけでした。

<http://seisan.server-shared.com/613/613-02.pdf>

(世界ものづくりサミット)

生駒さんは大手ソフトウェア会社に就職後、エンジニアとして旧松下電工や日本IBMへ出向。1年半の専業主婦を経て、1994年にプロアシストを創業され、この9月に創業30周年の記念事業を開催される予定でした。当協会では生駒さんは、理事、「いのち輝く分科会」座長として活躍され、企業経営者として経済界のリーダーとして将来が囑望されておりました。

財界活動では、女性で二人目の関西経済同友会の代表幹事を今年の5月までお務めになられ、大阪商工会議所では1号議員として活躍中でした。また、国際的にも活躍され、昨年11月には「在大阪カナダ名誉領事」に就任され、大阪と世界を結ぶ活動も始めておられました。

多くの思い出が脳裏をよぎりますが、今年一緒に活動した事を紹介して筆をおきたいと思います。

一つは、毎年開催する新春トップセミナーでコーディネーターを務めていただいた事です。2023年のテーマはブルーオーシャンプロジェクト～2025年大阪・関西万博のパビリオンを通じて考える～でした。ここでは、2025年国際博覧会(大阪・関西万博)



生駒京子さん（世界ものづくりサミット）

の機運醸成に取り組んだりすることに精力的に活動していただきました。彼女はいつもこのようなセミナーのコーディネーターを務めてくれました。

<http://seisan.server-shared.com/75-2-pdf.html>

(新春トップセミナー 2023)



セミナーのコーディネーターを務める（手前）

もう一つは、筆者が代表幹事を務める（公財）ブルーオーシャンファンデーションの監事を務めていただき、地球環境問題をはじめ、廃プラスチック問題を一緒に考え活動したことです。写真は6月17日



ブルージャケットで理事会出席

の理事会後の懇親会の様子ですが、好物の赤ワインを片手に、一緒に楽しくお話が出来た最後の写真になってしまいました。亡くなるまで社長を続け、社員を家族のように愛しておられ、当協会でも、生駒さんのもとには多くの「男女を問わない親友たち」が集っていました。惜別の気持ちは尽きません。

生前のご厚誼に感謝し生駒さんのご冥福をお祈り申し上げます。

合掌

